



Koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向二丁目2番6号 / 電話 0178-44-3866 / FAX 0178-43-9077
https://koryo-high-school.com / メール koryo@chibagakuen.ac.jp

進路相談会

11月19日(火)、さんほう主催で2年生対象の進路相談会が行われた。生徒たちは、大学、専門学校、就職の3つの分野に分かれ、各講師の先生方から今後の進路活動について真剣に話を聞いていた。大学希望者たちは、受験方法について学んだり、小論文の書き方を教授していただいた。専門学校希望者は、前半は総合説明を聞き、後半は自分が希望する分野の専門学校の方からお話を伺った。就職希望者たちは、就職の現状を知るとともに、「人は知っている仕事にしか就かない傾向にあるため、今のうちに知っている仕事を増やすことも大事」との助言をいただいた。その後は、面接試験について、礼の角度や質問の答え方など一連の動きを全員で確認していった。各進路について、今からやるべきことを学んだ生徒たちは、進路を意識した学校生活を送らなくてはと気持ちを引き締めた。



〈大学希望者〉
・自分はなぜその大学に行きたいのか、自分のことながら理由があいまいだと気づかされました。
・説得力のある小論文を書くために、普段から世の中の動きに敏感になり、情報収集しておくことが大事だと分かりました。
・文章を書くのが大変で、本当に大学受験できるのか心配になりました。
・自分に合った受験方法を見つけないといけないと思います。



〈専門学校希望者〉
・同じ分野の学校でも、学費はもちろんだら、どんな勉強ができるのかしつかり調べたいと思います。
・専門学校は、「専門」のことを勉強するので、進路変更が難しいこと、短期間で進路活動に入るの、一日、二日の欠席や遅刻でも、周りに遅れをとるといふシビアな面もあることを知りました。



〈就職希望者〉
・言葉遣い、挨拶など普段からできることを頑張っていきたいと思います。
・自己アピールできる自分になれるよう、「これだ」と思える自分の強みを見つけないといけないと思います。
・自分は販売の仕事しか興味がないので、職業選択の幅を広げるためにも、いろいろ調べたいと思います。

文芸大会入賞

第18回芭蕉堂まつり文芸大会
良き伝統を継承しながら文芸活動及び地域活動の充実・発展を図ることを目的に行われている芭蕉堂まつり文芸大会に、国語の授業の一環で応募し、7名が入賞した。

〈短歌 中・高生の部 題「雲」〉
地位 3年 松倉 澤(第一中学校出身)

流れゆく山の向こうのかなたまで
途切れぬ雲に想い寄せては

秀作 3年 中村 陽征(白山台中学校出身)

あこがれて手を伸ばしてもとどかない
空のあの雲今もつかめず

佳作 3年 山田 梅禾(明治台中学校出身)

夕暮れの真つ赤な雲に見惚れて
いつしか辺りに帳がおりる

佳作 3年 板橋 宙(長者中学校出身)

うろこ雲明日はきつと雨が降る
消えゆく夏の花火のにおい

〈俳句 中・高生の部 題「草(きのこ)」〉
佳作 3年 三浦 未有(是川中学校出身)

母お手製 つやつや輝く 茸ごはん

〈川柳 中・高生の部 題「樹木」〉
秀作 2年 八田 真斗(白山台中学校出身)

風吹いて 樹木ゆらゆら 踊ってる

佳作 2年 前田 虎次朗(湊中学校出身)

新緑の 木々がささやく 声は風

〇あおもり わが町魅力再発見川柳2024
《高校生部》
第一生金賞3年 類家 茉純(根城中学校出身)

つるつる りんごの表面 うちの肌

検定合格者

《漢字検定》
準2級 2年 河原木 唯申(白山台中学校出身)
3級 1年 山田 美結愛(根城中学校出身)
1年 川村 章博(湊中学校出身)

《数学検定》
3級 1年 西野 旬(大館中学校出身)

心理指導講話



12月9日(月)、本校スクールカウンセラー石岡れい子先生による1年生対象の心理講話が行われた。テーマは、「インターネット依存症について」であった。生徒の中には、生活リズムが乱れ、「自分はゲーム依存症かもしれないと思う人」という問いかけに手をあげた者もいた。そこで石岡先生は、キンバリー・ヤング氏のインターネット依存度テストなどを実施。このテストは、生徒たちが、自分の現状を把握するのに役立つ。インターネットは生徒にとって身近な問題であり、「自分は大丈夫」と過信してしまうのが依存症の落とし穴だ。今回の講話を聞いた青池結心さん(1年・下長中学校出身)は、「私は、いつもスマートフォンに集中しすぎて、学校の課題が遅れがちです。学校生活を第一に考え、やるべきことに優先順位をつけたり、スマートフォンの使用時間を決めたりして対処していきたいです。自分だけで対処できない場合は、家族の力も借りてインターネットと上手に付き合っていきたいです」と感想を述べた。今の世の中はコンピュータなしでの生活は考えにくい。だからこそ、インターネットの危険性を知り、正しい使い方をし、心身の健康を増進していくことの大切さを生徒たちは学んだ。

防犯・交通安全教室

12月23日(月)、全校生徒を対象に改正道路交通法に基づいた「防犯・交通安全教室」を実施した。講師として、八戸警察署から宮下様、南様、菊地様の3名をお迎えし、
①目指せチャリヘル100%!
②未来を照らせチャリライトオン!
③守れマイチャリツーロック!
の3つを向陵高校の目標に掲げ、講演いただいた。最初に南様から「自転車盗」の被害の8割は、無施錠あるいは一カ所のロックであることから、ツーロックが盗難防止策として効果的であるとご指導いただいた。また、最近、小・中学生の加害者も増えてきているという「闇バイト」のトラブルや危険性を注意喚起した。続いて、菊地様より八戸警察署管内の交通事故の発生件数・状況をお聞きしたり、スマートフォンを使った自転車事故の動画を見たりしながら、自転車の危険・安全運転について知識を深めた。最後に、自転車の安全5則を全員で確認。「ヘルメットはまだ努力義務ですが、免許がなくても乗ることができ『自転車は実は難しい乗り物』なので、知っているつもりでも、常に自分ルールを再確認したり、安全に乗るためにはどうすればよいか各自が考えることが大切」と結んだ。



▲講演の終わりには、代表の生徒らが様々なタイプのヘルメットを実際に被り、着け心地や安全性を確かめた。

修学旅行

12月13日(金)から17日(火)まで4泊5日の日程で、2年生が修学旅行(沖縄・大阪)に行ってきた。初日13日(金)は、最高気温4度の八戸から最高気温23度の沖縄へ。南国情緒あふれる沖縄の雰囲気堪能しながら平和教育を中心に3日間過ごした。4日目は、大阪へ移動し、ユニバーサルスタジオジャパンを満喫した。期間中、インフルエンザに罹患する者も出たが、無事に全員帰八した。

13日(金) 八戸〜沖縄への移動



14日(土) 美ら海水族館、古宇利オアシヤンタワー、国際通り散策



15日(日) ひめゆりの塔、平和祈念公園、おきなわワールド、スーパーエイスーパー公演、旧海軍司令壕、守礼門見学

柄本百絵(第三中学校出身) 最初、移動のバスの中で、ガイドさんが「ひめゆりの塔」について説明してくれました。その中で特に印象に残ったのは、疎開先に行く児童がアメリカ海軍の潜水艦に撃墜された話です。「小学生くらいの子が母親と別れて、『泣かないぞ』と母親から目を背けて疎開先で頑張ろうとしているところに、このような悲劇が起ころうとは誰が予想したでしょうか」というガイドさんの言葉に涙が出てきました。着いた場所は、公園のような場所でしたが、線香の匂いがほのかにしました。「ひめゆりの塔」と聞くと、「塔」をイメージしますが、そこには「塔」がどこにもなく、大きな石碑があり、石に囲まれたスペースがありました。その横に千羽鶴を納めたあと、ガイドさんが「ここがひめゆりの塔です。地下約14メートルあり、中は長靴の形をしているそうです」と言いました。そこは、斜面が90度近くあり、降りるには大変な場所でした。その斜面をひめゆり学



高橋 愛子(第三中学校出身)

私たちは、平和祈念公園に行きました。一番印象に残った場所は、平和の礎(いしじ)です。この礎は沖縄戦で亡くなった約24万人の方の名前が刻まれています。敵味方関係なく、日本以外にも、アメリカ、イギリス、朝鮮半島の人々の名前が書かれているそうです。また、47都道府県の北から南まですべての人の名前が書かれています、とても被害が大きいことが分かりました。私たちは、修学旅行前に人間学「人間と平和」の授業で「さとうきび畑の唄」を観ました。授業で勉強したことがほとんど同じで驚きました。これは、本当に現実で起きたことなのかと目や耳を疑いました。火炎放射、戦車、死体、そんな映像を見ていると「この地で戦争があったのだ」と考えさせられました。この刻銘碑は、亡くなった人たちの生きていた証です。沖縄の地でたくさんの方が亡くなったと、そして、今の生活が当たり前でないことを忘れないでほしいです。



徒たちは、はしごを使って降りたようです。私たちと同じ年の子が、こんな思いをしているなんて考えられないです。

栗村 漣(東中学校出身)

旧海軍司令壕は、全長450メートルでしたが、復元した今は300メートルになっています。旧海軍司令壕に入る前に、実際に使われていた展示品を見ました。そこで、機関砲や手榴弾、戦闘用のヘルメットなどを目にしました。格好良いと思ったと同時に、錆びた銃や穴の開いたヘルメットを見て戦争の残酷さを感じました。壕の中を見て一番衝撃を受けたのは、医務室を再現した場所です。ひめゆりの塔で見て知ってはいいましたが、再現をみると、より医務室の劣悪な環境が分かりました。同様に、兵士の嘆きを見てから司令壕に来たので一層悲壮感がありました。また、自分たちが「今」立っている壕をつるはしだけで掘っていたと考えると、掘った人の大変さが伝わってくるようでした。実際に使われていたであろうつるはしを見ましたが、見ただけでも重さがかかるようでした。私は、戦争の「せ」の字も知らなかったようです。戦争は起きない方がいいと考えず、絶対に起



してはならないと考えを改めたいと思いました。

磯谷 雪風(白銀中学校出身)

火事で焼失した首里城本殿は見ることはできませんでしたが、守礼門を見ることはできました。風が強くて大変でしたが、階段を上り、振り返ったときの景色は綺麗でした。途中、寝ている猫もあり、平和を感じました。首里城が完成したら、また沖縄を訪れたいと思います。

16日(月) 沖縄〜大阪へ移動、ユニバーサルスタジオジャパン

17日(火) 大阪〜八戸



球技大会

12月20日(金) YSアリーナを会場として球技大会を行った。女子の種目はバスケットボール。各クラスのバスケットボール経験者たちがチームを牽引、シュートや華麗なボール回しで会場を盛り上げた。中でも3年2組が全試合で圧倒的な強さを見せ優勝した。男子バレーボールは、試合を終わるごとに各クラスがチームワークを上げ、拾うバレー、繋がるバレーを見せてくれた。男子も3年2組が制し、アベック優勝を果たした。最後は、各優勝チームと教員チームが対戦し、笑顔で2学期最後の行事を終えた。教員チームを破った3年2組には校長賞が贈られた。

〈男子〉優勝 3年2組
2位 2年1組
3位 2年2組

〈女子〉優勝 3年2組
2位 1年1組
3位 3年1組

